

かすみがうら市議会産業建設委員会会議録

平成29年9月11日 午後 2時25分 開 議

出 席 委 員

委 員 長	小座野 定 信
副委員長	佐 藤 文 雄
委 員	矢 口 龍 人
委 員	加 固 豊 治
委 員	来 栖 丈 治

欠 席 委 員

な し

委 員 外 委 員

な し

出 席 説 明 者

土 木 部 長	渡 辺 泰 二
上下水道部長	堀 口 家 明
道路建設課長	大 山 俊 男
下水道課長	長谷川 文 男

出 席 書 記 名

議 会 事 務 局 青 山 哲 士

議 事 日 程

平成29年9月11日（月曜日）午後 2時25分 開 議

1. 開 会
2. 事 件
 - (1) 議案第57号 市道路線の認定について
 - (2) 議案第58号 市道路線の認定について
3. 閉 会

開 議 午後 2時25分

○小座野定信委員長

皆さん、大変ご苦労さまでございます。

ただいまの出席委員は5名で、会議の定足数に達しております。よって、会議は成立いたしました。

それでは、産業建設委員会を開きます。

書記を指名いたします。議会事務局、青山主任を指名いたします。

次に、本日、委員会に付託されました議案第57号及び第58号につきまして、審査に先立ち、これより現地調査を行うこととしたいと思いますが、いかがでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

その後、付託議案2件を審査したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

ご異議なしでございます。それでは、そのようにいたします。

ここで現地調査のため暫時休憩といたします。

休 憩 午後 2時25分

再 開 午後 3時15分

○小座野定信委員長

それでは、休憩前に引き続き会議を再開いたします。

現地調査のほう、大変ご苦労さまでございました。

それでは、議案第57号 市道路線の認定についてを議題といたします。

土木部から特に補足説明等はございませんでしょうか。

[渡辺土木部長「なし」と呼ぶ]

○小座野定信委員長

ないということですので、質疑を受けます。質疑のある方は挙手を願います。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

なしということですので、質疑を終了いたします。

これから討論を行います。討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

討論を終結いたします。

これから議案第57号を採決いたします。

本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

異議なしとのことでございます。

本案は全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次いで、議案第58号 市道路線の認定についてを議題といたします。

土木部から特に補足説明等はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

ただいまより質疑を受け付けいたします。質疑のある方は挙手をもってお願いいたします。

来栖委員。

○来栖丈治委員

一応つけかえというようなことでありますが、既存のこれまでの道路というのはどういう取り扱いになるんですか。

○小座野定信委員長

道路建設課 大山課長。

○道路建設課長（大山俊男君）

8-396号は、都市計画道路の車両禁止の措置を講じるように警察のほうから指導がありましたので、そのようになっています。

[渡辺土木部長「いいですか」と呼ぶ]

○小座野定信委員長

渡辺部長。

○土木部長（渡辺泰二君）

現道はそのまま残るんですけども、交差点の手前で車の進入ができないような……

[「ああ、進入禁止のこういう。車どめみたいの」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

言うならば五差路にしないと。

○土木部長（渡辺泰二君）

そうですね。

○小座野定信委員長

ということでよろしいですね。

○土木部長（渡辺泰二君）

はい。

○小座野定信委員長

ほかに。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

これで討論を終結いたします。

これから議案第58号を採決いたします。

本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

異議なしと認めます。よって、本案は全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で本委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。

次いで、閉会中の所管事務調査の申し出についてを議題といたします。

それでは、閉会中の所管事務調査（案）の配付を願います。

[所管事務調査（案）の配付]

○小座野定信委員長

配付漏れ等はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

お諮りいたします。

本案のとおり議長宛てに閉会中の所管事務調査について申し出ることにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

異議なしと認めます。それでは、そのように議長宛てに申し出させていただきます。

次いで、茨城県市議会議長会主催による平成29年度第1回議員研修の出席者の選出についてを議題といたします。

来る11月6日月曜から7日火曜までの2日間にわたりまして、茨城県市議会議長会主催による平成29年度第1回議員研修が土浦市のホテルマロウド筑波を会場に開催されますことから、各常任委員会からそれぞれ出席者1名を選出されるよう求められております。

これより本研修の出席者についてご意見等をお伺いいたします。

どなたかご推薦いただけないでしょうか。

[「予定が入っている」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

じゃ、小座野委員が行きます。

小座野委員とのことですけれども。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

じゃ、出席してまいります。

それでは、小座野、私みずからが出席してまいります。

そのように議長に報告することによろしいでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

それでは、そのようにさせていただきます。

ほか、委員の皆様から何かその他でございませんでしょうか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

それでは、昨日、上下水道部のほうより雨水排水計画についての委員会への説明をしたいという申し出がありましたが、ご説明を受けたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

では、そのようにいたします。

入場を許します。

暫時休憩します。

休 憩 午後 3時20分

再 開 午後 3時20分

(上下水道部 入場)

○小座野定信委員長

再開します。

それでは、上下水道部長、お願いいたします。

○上下水道部長（堀口家明君）

それでは、平成28年度に実施をしました公共下水道雨水計画（逆西排水区）見直し調査業務の報告をさせていただきます。

下水道課長、長谷川からご説明しますので、よろしくをお願いいたします。

○小座野定信委員長

長谷川課長。

○下水道課長（長谷川 文男君）

下水道課、長谷川です。

それでは、説明いたします。

お手元にお配りしていると思うんですが、昨年度実施しました公共下水道雨水計画（逆西排水区）見直し調査業務の調査結果概要についてご説明いたします。

初めに、調査業務を実施いたしました背景といたしましては、稲吉地区では、近年の降雨パターンが変化する中で、集中豪雨による道路冠水や家屋床下浸水の頻度が高まっております。また、神立駅と国道6号線を直結する都市計画道路が整備されていることから、近年のうちに宅地拡大や余剰地の商業地転換が進むことで流出係数の増加が懸念されます。これらの状況を踏まえまして、雨水排除の対策が必要と考えられます。

稲吉地区の冠水は比較的短時間で解消することから、下流部の流下能力はある程度確保されているものと想定され、区域流末までの対策ではなく、地区内の改良で完全解消には至らないまでも、ある程度の効果が期待できると想定されます。

一方、冠水は高頻度で発生することから、該当地区への対策は急務となっております。対象地区に対して雨水排水計画を策定し、問題の解消を果たすまでの道筋と当面必要となる対策を立案し、事業手法の選定を行うための検討を行い、今回の業務では、対策に時間を要する完全解消に優先して、被害軽減を図る暫定対策を行うとし、冠水被害が頻発する逆西排水区の状況把握と暫定対策の立案を行いました。

お配りいたしました資料1ページをお願いいたします。

今回調査を実施いたしました公共下水道逆西排水区につきましては、赤線で囲まれた区域となります。

3ページから6ページに、逆西排水区における主な冠水・浸水箇所6カ所の状況といたしまして、平成27年9月の台風18号の接近に伴い冠水いたしましたときの状況写真と位置を掲載しております。

3ページの図3-1につきましては、8ページの冠水・浸水箇所図の①の箇所になります。ちょっと図面が小さくて見づらいんですが、申しわけありません。

4ページの図3-2につきましては、同じく②の箇所になります。

続きまして、図3-3につきましては、同じく8ページの④、⑤、⑥の箇所となります。

6ページの図3-4につきましては、同じく③の箇所になります。

9ページをお願いいたします。

6カ所の冠水・浸水の原因の推定といたしまして、①の箇所につきましては、周辺に排水施設が設置されておらず、道路表面以外に流下する場所がないことから、現場周辺に滞水が発生している可能性が高く、また、下流側の水路が③の箇所に当たり、ここでの流下能力不足が上流側への背水として影響していると考えられます。

②の箇所は、道路の側溝の能力が不足しており、特に下流側の不足による背水の……

[「背中の水になっている」と呼ぶ者あり]

○下水道課長（長谷川 文男君）

背中の水ですね、影響によって、下流に流下できない雨水が現地周辺にあふれることで道路冠水が発生している可能性が高いと考えられます。

③の箇所につきましては、現地はふたかけもの柵渠であり、排水施設の能力が不足しているほか、ふたによって排水施設への流入に対する障害も大きく、施設は下水道計画の降雨強度に対して3分の1強程度の流下能力しか確保できておらず、ここで流下できない水、あるいは水路に入り切らない水が道路に溢水している可能性が高いです。また、下流側でも流下能力が不足しており、背水の影響も考えられます。

[「このハイスイの背水というのは」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

ちょっと質問は後で受けます。

[「後か。いや、直して言ってもらってもいいから」と呼ぶ者あり]

○下水道課長（長谷川 文男君）

④の箇所は、埋設された排水施設の能力が不足しており、下水道計画の降雨強度に対して半分程度の能力しか確保できていなく、ここで流下できない水が道路に溢水している可能性が高いという状況

になります。

⑤の箇所につきましては、排水施設は能力を有しておりますが、④よりあふれた水が道路上を流下してくるのに対し、排水施設への導水能力が乏しく、水路に入らなかった水が地形的に低い場合に湛水している可能性が高い。また、南側から流入する排水施設も流下能力が不足しており、同様に道路にあふれた水が流下してくると考えられます。当該箇所から池に対して排水管が設置されているが、この能力も小さいため、ピーク時には流入量が流出量より多くなっていることが予想されます。

⑥の箇所につきましては、埋設された排水施設は十分な能力を有しており、施設内の状況も良好である。また一方で、上流水路は勾配が十分に確保できておらず、能力が不足している状況にあると考えられます。この上流部で水路によって流下できなかった水が道路上に溢水し、それが⑥地区最上流の低地部に湛水することが原因である可能性が高いと報告されております。

⑥地区最上流は周囲で最も低い地盤高となっており、さらに、水路への導水施設が非常に少ないことから、流入量が流出量より多くなっていることが予想されます。また、降雨が終了すると一気に水が引くのは、下流部で能力が十分に確保できていることの説明とも言えると報告されております。

以上が冠水・浸水箇所6カ所の原因の推定と報告されております。

○小座野定信委員長

この後、長期的な対応ということで、今後の対処方法なんでしょうけれども、どうでしょう、ここで質問を受けるような形でよろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

じゃ、説明がてら、ここで質問を受けたいと思います。

ご質問のある方は挙手を願います。

佐藤委員。

○佐藤文雄委員

いやいや、質問じゃなくて、このハイスイの背水はこの背水でいいんですか。背中の水という意味なんですか。どういう意味なんですか。これはどういうふうに理解すればいいんですか。

○小座野定信委員長

長谷川課長。

○下水道課長（長谷川 文男君）

ここで言っているのは、河川でいう本川の水位と支川の水位の関係で上流側が、何と申しますかね、下流側に流れないで、上流側が水位が高くなるというような状況のことで、この背中の水というふうにはここでは置きかえて説明されています。ちょっと私の説明で申しわけないんですけども。

○小座野定信委員長

矢口委員。

○矢口龍人委員

基本的に、逆西排水区というこの名称は、要するにこの中の排水は全て菱木川に最終的には注いでいる排水区ということによろしいんですか。そのほかに、この地区からほかへ流出しているということはないんですか。系統がわからないんだよね。もっと系統がわかるようにしてもらいたいんだよね。この水の流れというのがさ。

○小座野定信委員長

長谷川課長。

○下水道課長（長谷川 文男君）

逆西排水区の流末につきましては、菱木川のほうへ全て流れ込むような地形になっております。

○小座野定信委員長

あと、副委員長、ちょっといいですか。

[矢口委員「ちょっとまだ俺」と呼ぶ]

○小座野定信委員長

はい。矢口委員。

○矢口龍人委員

それで、だから、そうなのであれば、この排水の系統ね、水の流れがわからないと。わかりたいですよね。どういう流れでこう……

○小座野定信委員長

どこを下流……

○矢口龍人委員

うん。どこが上流で、どこが下流なのかってね。本来その流れがわからないと……

[「排水もわからなくなっちゃうな」と呼ぶ者あり]

○矢口龍人委員

うん、排水もわからない。

○小座野定信委員長

それは、この長期的対策という中での計画図面とか構想はでき上がっていると思うんですが、次回に、この長期的な対策方法として、そのどこに、水の流れの方向ですね、それをお示しする図面でもつけてもらって、長期的な排水計画の説明ということにしてもらいたいと思うんですが、課長、いかがでしょうか。

下水道課長。

○下水道課長（長谷川 文男君）

はい。

○小座野定信委員長

ちょっとかわっていいですか。

[委員長、副委員長と交代]

○佐藤文雄副委員長

小座野委員。

○小座野定信委員

これ、よく水がたまって、水がはけないということで、水はけをよくする計画なんでしょうけれども、1時間当たりどれぐらいの降水量で水がたまっていくというふうな見通し等がありますか。

○佐藤文雄副委員長

長谷川課長。

○下水道課長（長谷川 文男君）

今回、この見直し業務を行った降雨強度ですが、俗に言う5年降雨強度という。

[「5年」と呼ぶ者あり]

○下水道課長（長谷川 文男君）

ええ。

○佐藤文雄副委員長

小座野委員。

○小座野定信委員

1時間当たりどれぐらいの雨が降ると、こういう状況になってしまうかという、何か今までの統計とか、そういうものはありますか。

○佐藤文雄副委員長

5年降雨というのは、そういう意味での基準を指しているのかどうかだよ。今言ったね。これ10年とか20年とか30年があるなら、その5年降雨というからね。これ今答弁した。

○小座野定信委員

いや、1時間当たりどれぐらいの……

○佐藤文雄副委員長

5年降雨というのは、だからそういう……

○矢口委員

いやいや、だから具体的に1時間当たり何ミリというような説明のほうがわかりやすいよな。

○佐藤文雄副委員長

うん。だから、5年降雨というのは、そういう基準があるんでしょう。

○加固委員

何ミリとかな。

○佐藤文雄副委員長

うん。

○小座野定信委員

専門用語を使われちゃうと、わからない。

○佐藤文雄副委員長

長谷川課長。

○下水道課長（長谷川 文男君）

今回改善するための課の改修計画の中で、私が持っているやつでちょっと説明し切れるかどうか分からないのですが、筑波山測候所の1942年から66年の25年間の資料をもとに検討しているということで……

〔「何ページ」「ついていないでしょう」と呼ぶ者あり〕

○下水道課長（長谷川 文男君）

今回お配りしている資料のほうには入っておりません。

○佐藤文雄副委員長

小座野委員。

○小座野定信委員

だから長谷川課長、これ計画はよく理解できるんですけども、その基準、1時間当たりに例えば50ミリ降ると、こういう水たまりができて、はけなくなるんだよ。だからこういう計画にするんだという、その大もとのたたき台というものを明確にしないと、この長期的な計画をやったとしても、これ果たして機能するものなのかどうかということもクエスチョンが出てきちゃうと思うんですよ。だから、その基本に立って、今まで1日当たり50ミリの雨が3日間続いたらこうなったとか、でなかったら、集中豪雨で1時間当たりに100ミリ降っちゃったからこうなったんだとかということで、こん

な差が出てくると思うんですよ、この考え方によって。俺は、その辺をよく整理した上で、この計画というものをもう一度よく熟慮していただいたほうが無駄もないし。余分に排水できるのはいいですよ。だけど、排水し切れなかったら無駄になるわけですから、またやり直しになるわけだから、その辺をよく熟慮すべきではないかなというふうに思うんですけれども、いかがでしょうか。

○佐藤文雄副委員長

長谷川課長。

○下水道課長（長谷川 文男君）

私もこの報告書を読んでいて、ちょっとその辺、今、委員長が言われたようなところがわからなかったものですから、コンサルのほうにも確認したんですけれども、何というんですかね、わかりやすい明確な回答をいただけなかったというのが事実なんですけど、ただ、今言ったように、先ほど筑波山測候所ですか、ここでいえば、そこの過去25年間の資料をもとに、過去5年の間に降った時間最大雨量をというような解釈の仕方なので、1時間に何ミリという……

[小座野委員「その最大雨量が何ミリなの」と呼ぶ]

○下水道課長（長谷川 文男君）

1時間のうちに最大雨量が何ミリと、今で言えば50ミリとか60ミリとかという、そういう明確な回答はなかったものですから。ネットなんかで見ると、地域性にもよると思うんですが、時間雨量54ミリというような……。すみません、今、こちらで見ると、時間最大雨量42.4ミリという計画、設計係数ですね、それをもとに。

[「時間当たり」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員

4センチ2ミリで1時間ね。終わります。

[副委員長、委員長と交代]

○小座野定信委員長

矢口委員。

○矢口龍人委員

今の降水量の件なんですけれども、平成27年9月10日に台風の影響で逆西地区が冠水したわけなんですけれども、このときの降水量というのが2日間で127ミリぐらいだと思ったんですけれども。ですから、そういうふう実際に起こった雨量によって冠水して要するにこういう状況になったので、私が考えるには今までで最大の雨量だったのかなと、18号のこの部分がね。ですから、それが根拠になっているのかなと思うんだけど、もっともっと、要するに1時間当たり100ミリも降るような、今、そういう時代なんですよ。だから、その辺をもう少し、今おっしゃるように、しっかりとした計画の中で作成していかないと、四十何ミリだといっても、実際にはだって2日間で百二十何ミリも降っているわけだから、もっともっとこう。1時間と2日間じゃ違いますけれどもね、そのカウントの仕方がね。でも、その辺を本当によく考慮した計画になっていればいいですけども、やはり皆さんにお知らせするには、説得力を持った算出基礎でもってお願いしたいというふうに思います。

○小座野定信委員長

だから、長期計画の説明は後にして、それは最初の説明になかったから。そういう根本的なことから説明してくれるのであれば、やっぱり積み上げてもらわないと、聞いていても、逆に不信というか、そういう見えない部分のほうが多くなってきちゃうと思います。

この件につきましては、閉会中の所管事務調査で改めて報告をいただければと思います。

じゃ、以上で説明を閉じたいと思います。暫時休憩します。

休 憩 午後 3時39分

再 開 午後 3時45分

○小座野定信委員長

再開します。

以上で本委員会に付託されました案件は全て終了いたしました。

大変ご苦勞さまでございました。

以上で散会いたします。

散 会 午後 3時46分

かすみがうら市議会委員会条例第30条の規定により署名する。

産業建設委員会委員長 小 座 野 定 信